

入札方法について

1 入札はカウンター方式（レンジ）で行う。

レンジの組み方は、モノクロは1枚から最大複写枚数（39,000枚）までを2段以上で組むこととし、それに最大複写枚数に1枚以上を加え、最低3段以上にすること。また、カラーコピー及びカラープリントは、1枚から最大複写枚数（300枚）までを組むこととし、それに最大複写枚数1枚以上を加え、それぞれ2段以上にすること。

2 入札方法

(1) 賃貸借料金の月額と、保守料金（月平均使用枚数）を併せた額で競うものとする。

賃貸借料金と保守料金を併せた額の合計（月額）が、入札金額となる（消費税抜き）

下記の＜レンジの組み方＞を参照

(2) 1枚当たりのカウンター料金は、小数点以下第1位（円十銭）まで記入すること。

(3) 複写枚数 1月あたりの平均使用枚数 モノクロ 29,144枚

カラーコピー 300枚

カラープリント 51枚で計算

(4) 入札書中、賃貸借料金と保守料金の合計が入札金額と異なる場合や、複写枚数×単価の金額の計が、保守料金の合計と異なる場合はこの入札を無効とする。

＜レンジの組み方＞

		— 一枚当たりのカウンター料金	
モノクロレンジ			
1枚～15,000枚まで	→	15,000枚 × . =	円
15,001枚～39,000枚まで	→	14,144枚 × . =	円
39,001枚以上	→	枚 × . =	円
カラーコピーレンジ			
1枚～300枚まで	→	300枚 × . =	円
枚～枚まで	→	枚 × . =	円
301枚以上	→	枚 × . =	円
カラープリントレンジ			
1枚～300枚まで	→	51枚 × . =	円
枚～枚まで	→	枚 × . =	円
301枚以上	→	枚 × . =	円
		【保守料金】	円...
		【賃貸借料金】	円...

月額（ + ） 合計 円

入札金額は1円未満を切り捨てること。

入札金額